

秋の深山で味わうフルーツの王様、サルナシ

サルナシ

Actinidia arguta (Sieb. et Zucc.) Planch.

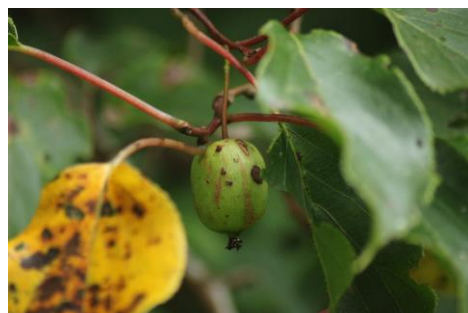
マタタビ科マタタビ属に含まれます。猫を酔わせることで有名なマタタビの仲間です。マタタビと聞いてもあまりピンとこない方もいるかもしれませんが、実はキウイフルーツの仲間でもあります。

つる性植物で植物体全体に豊富に水を含むため枝を切るとやや甘味のある樹液がしたたり落ちます。その様子から水筒木と呼ばれています。

花は白く、果実は楕円球から球形状で緑色です。果実は甘い芳香があり、キウイフルーツを濃厚にしたような甘味があります。この特徴は哺乳類による種子の拡散戦略に該当し、人はもちろんクマやサルなどの哺乳類による摂餌→運搬→排便を利用したものと考えられています。雌雄で異なる株のため果実のなる木とならない木があります。



果実をたわわに実らせる雌株（9月）



サルナシの果実（9月）



サルナシの果実の縦断面



サルナシの果実の横断面

キウイフルーツのような実、その食べごろは？

左の写真は9月初旬のサルナシの実を切断したものです。サイズが2~3cmと小型なことで表面に毛が無いことを除けば見た目はまさにキウイフルーツです。しかし、この段階で食べても渋くてとても食べられたものではありません。

では食べごろはいつか？

初霜が下りる9月下旬から10月頃、表面にしわがより、手に取ってやわらかくなったころがその時です。きっと周囲には早熟して落下した果実から甘い香りが漂っていることでしょう。

あまり遅すぎると発酵してお酒になってしまいますよ。

注意 サルナシの木の周辺にはツキノワグマが集まります。気を付けて！

キウイフルーツにアレルギーを持っている方は、食べると同じようなアレルギーショックを起こすことがあります。食べないでね。